

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2014年8月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2014年8月21日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆JCS	(株)日本海中技術振興会	鷹野	与志弥
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	筑波大元教授	吉田	章
	DANジャパン	小松	
		小島	あきこ

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① 「スクーバダイビング事故防止安全対策（案）」について
  - 先般、日本レジャーダイビング協会（JRDA）から、当該協会が経済産業省に提出する「スクーバダイビング事故防止安全対策（案）」をC協で作成するよう依頼があり、その素案をC協事務局が作成したとの報告があり、その場で内容の確認が行なわれた。
  - 出席者から、内容検討に若干の猶予が欲しいとの意見があったため、次週8月29日（金）までに各自内容を確認し、意見がある場合は同8月29日までに事務局宛に提出することとなった。
- ② DAN ジャパン紹介
  - 次回9月18日のC協定例会において、DANのコース等の理解を深めるためのプレゼンを実施したい旨の説明があり、本定例会出席者の承認を得た。
- ③ 安全対策セミナー 大阪開催について
  - 2014年5月17日開催の第4回ダイバー自身の安全対策セミナーに引き続き、同セミナー実行委員より同セミナーの大阪開催の提案があり、本定例会出席者の承認を得た。
  - 上記承認後、2014年10月25日（土）を暫定的に会期とし、同セミナー実行委員が準備を進めることとなった。
- ④ その他
  - 筑波大元教授吉田氏より、業界内の各組織がその持分をわきまえた運営をするべきであるとの意見があり、ダイビングの教育面は文科省傘下の社会スポーツセンターの管轄であるとの意見があった。

以上